

300人の未知なる挑戦の舞台裏。

【vol.7】祝完成★いよいよ中国富陽工場的全貌が明らかに！

2025
SPRING

Produce by KAZUMA

Kazuma Co., Ltd.
105 Yaemaki-cho, Fukui-City, Fukui, 910-0123, JAPAN
TEL/FAX: (0776) 56-4006 / (0776) 56-4007

新たな章が今

はじまる

ミャンマー
大地震の
募金活動遠く離れていても心はひとつ。
ミャンマー地震復興支援に向け
社内で募金活動を実施。

3月28日、ミャンマー中部・マンダレー市でマグニチュード7.7の大地震が発生して以来、現在もなお復旧のめどが立っていない深刻な被害状況となっています。報道を見ても、東工場長が社内に在籍する13人のミャンマー人実習生の家族が無事かどうかを、ミャンマー語通訳を通じて確認。実習生たちの出身地はマンダレー市からやや離れた地域だったこともあり、家族の安全が確認されてスタッフ一同、胸をなでおろしました。しかし、被災地には今も支援を必要とする人がたくさんいます。そこで、ミャンマーの復興支援に向けた社内募金活動を実施しました。



500円以上の募金をしていただいた社員には、感謝の気持ちとしてオリジナルのピンバッジをプレゼント。ミャンマーの国旗やゴールデンパゴダ(寺院)、「こんにちば」を意味するミャンマー語などを。募金箱には、復興への祈りを込めたミャンマーの風景のイラストをあしらいました。

パイナップル
カーテン
新開発

パイナップルの葉を繊維に。生産農家の女性たちの夢をのせたフードカーテンがリリース。



カズマとバングラディッシュ原産のパイナップル繊維を開発しているドイツの企業「Re-Root-Text Solution」とのタッグによって生まれた、パイナップル繊維のカーテン「KIICCA (貴果)」が、KURASIKU(クラシク)からリリース。年間約1億トンを焼却されているというパイナップルの葉を少ない水で繊維に再利用し、生産農家の貧困や女性の権利、子供の教育支援まで、幅広いサポート体制のもとで開発されている商品です。リネンのような洗いざらし感とハンモックのような通気性を感じる風合いで、どんなカーテンレールにもコーディネートできる商品。夏に向けたインテリアに採り入りたい1枚です。

公開日 5月20日(火)
販売場所 クラウドファンディングMakuake(マクアケ)新ブランド
matec
通販スタート

環境にも人にもやさしい商品を。世界に1つだけのステーションリー雑貨をTateYokoオンラインで。

カーテンの製造過程で廃棄される生地を再利用してつなぎ合わせたユニークなデザインのステーションリー雑貨「matec(マテクト)」が、ついにオンライン販売を開始。美しい配色と厚くて丈夫な生地感がポイントで、この縫い合わせ工程は障がい者就労継続支援B型事業所「タクティス福井」さんに依頼。経済的支援や仕事への意欲向上にも貢献しています。

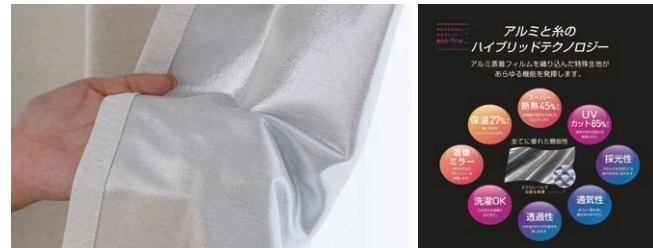


ポーチ:3,190円(税込)

超機能
厚地
カーテンが
登場

窓辺の常識を変える超機能カーテン「エコファイン」に無地の厚地シリーズが新登場。

アルミと糸のハイブリッドテキスタイルカーテン「エコファイン®」に、待望の無地厚地が新たに登場。断熱性60%を実現するほか、寝室などにおすすめの遮光3級の機能も加わっています。昨年の夏を思い出して、「冷房の効きに時間がかかる」「電気代が高すぎる」「2階が驚異的に暑い」などご不安のある方はぜひご検討ください。

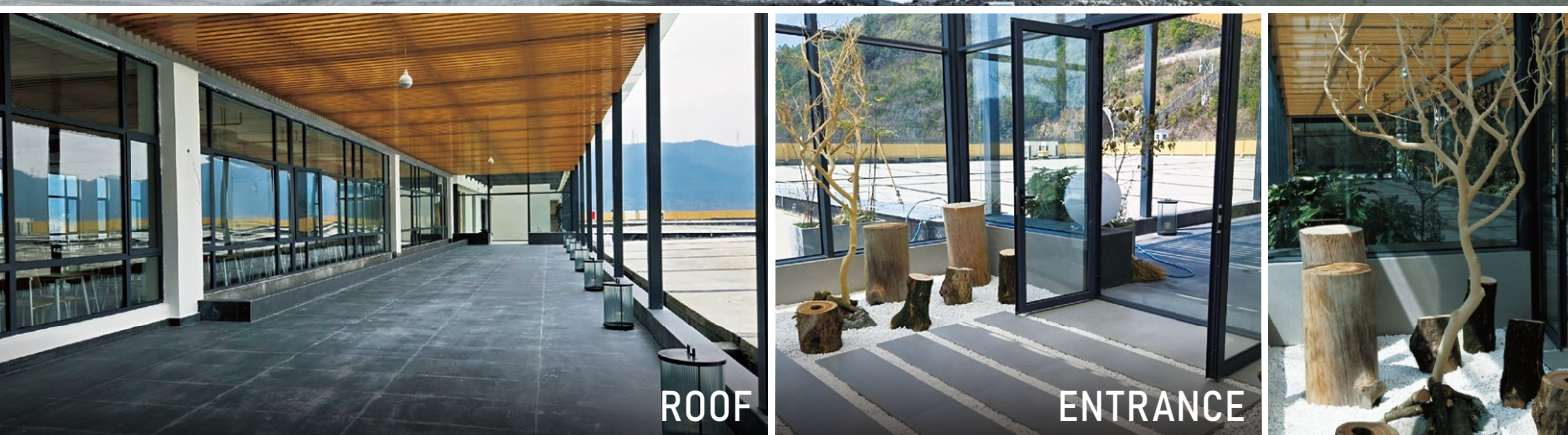
TateYoko Journal 2025 SPRING
株式会社カズマ
〒910-0123 福井市八重巻町105
0776-56-4006

TateYoko creative shop



FINALLY, THE CHINA PLANT IS COMPLETED!

2023年から建築中だった中国の富陽工場がこの春ついに完成披露を迎え、カズマの新たな歴史の1ページが刻まれました。その全容と、カズマが描く壮大な夢の物語のはじまりを、ほんの少しですがご紹介させていただきます。

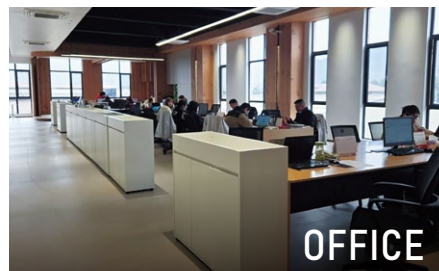


SHOWROOM

富陽の新工場がついに完成。カズマの未来を創る拠点へ。

中国の主要都市である上海の南に位置する浙江省杭州市富陽。ここは当時SARSが大流行していた2003年、強い覚悟で中国へと展開を広げたカズマと、それとともに支えた中国スタッフとの揺るぎない信頼関係によって構築されてきた。カズマにとって最も大規模かつ重要な生産拠点のひとつです。当初は20名からスタートした富陽工場は、3回の移転を経て現在の新工場へと進化。その間、富陽という土地にこたわり続けながら現在は約280名のスタッフが在籍する大規模な工場へと成長しました。これまでは日本からの受注製品の生産に特化していましたが、今後は富陽へ恩返ししたいという想いも込め、オリジナルブ

ランド『富居 (FUJU)』を立ち上げ、中国国内向けの製品を輩出予定。カーテンにとどまらない様々なファブリック商材をこの富陽から生み出し、中国ナンバーワンのファブリックメーカーを目指します。新築移転とともに、AIやロボットの導入、カズマの最新技術を結集したショールームの新設、縫製の未来を描くソーイングスタジオなど、ワクワクするコンテンツを充実させてアップデートした富陽工場。ここからカズマとインテリア業界の素晴らしい未来が創りだされていく予感です。(福井の本社・本工場も負けてはいられません!)



OFFICE

オフィス

営業部と生産管理部の島を一体にし、スタッフ同士の連携がスピーディにとれるように工夫したワンフロアのオフィス。一角にはカフェのようなキッチンスペースが設置され、社員がリラックスして仕事ができる心地よい環境が整っています。



KNITTING

経編工場

安価な大量生産向けの生地は外注にシフトし、カーテンや衣料に対応できるハイゲージの機械やカズマにしか作れないオリジナル製品を編織できる機械に集約。より付加価値の高い生地を小ロットでも生産していける体制を視野に入れていきます。



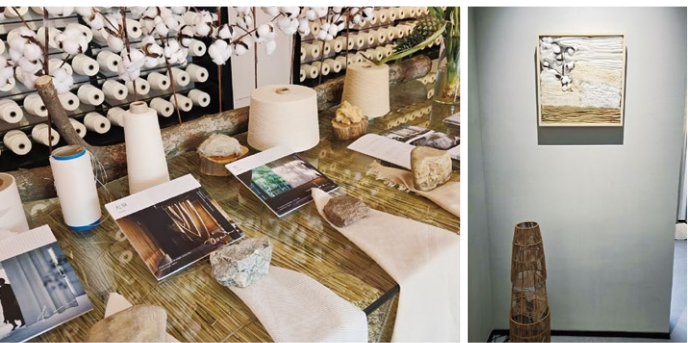
SEWING

縫製工場

既製品中心の生産から中国国内向けのオーダー商品を生産できる体制へと。立体自動原反ラックや専用ミシンの導入、電気的形状記憶窯など、新しい設備も多く導入しました。ほぼ完全自動化された最新の倉庫は圧巻です!

オリジナルブランド「富居 (FUJU)」の
トレンドを発信。

屋上が見える明るく開放的な4Fには、商談スペースを兼ねて巨大なショールームを新設。窓回りが見える中国のインテリアをリードする、カズマの最新の技術を織り込んだホテルライクで洗練された『富居』のカーテンをディスプレイしています。ラインナップしているのは、テクスチャシリーズのひとつとしてジャカード風の模様を刺繍で表現したテキスタイル、生地の半分にだけ刺繍をふんだんに施したモダンなデザインのハーフトスタイルなど。カズマが業界一を目指す刺繍技術のテキスタイルをはじめとした、編み、機能レースなど多種多様なカーテンを常時公開&PRしていきます。



日本でも展開している自然素材100%シリーズ「KURASIKU」、和紙やパンジー、ハンゴウや皮など、繊維が難しく非効率ながらも職人の高い技術で丁寧に製品化される商品の数々。(画像左下)人工物でなく自然のものにインテリアをそろえたいという想いから、裏山から採った切り株をテーブルに、(画像右上)製造の際に生まれる残糸を使って作ったアートパネルがインテリアにアクセントを加えています。



(画像上・左下)世界情勢や政治、パンデミックなどどんな外的要因があっても揺るぎなかったカズマと中国の信頼関係を動画等で常設。「ご縁は一期一会。一方通行でもだめで、双方が無条件で信頼し合っていることが大切」と話す社長の言葉どおり、長い時間をかけた中国との最長の絆が「ディーチャイナ」の原点なのだそう。(画像右下)おめでたい行事に花火を上げる習慣がある中国。現地で縁起がいいという「8」や「9」にちなんで、朝8時18分に爆竹を打ち上げ、なんと5分間!